

小学校第1学年 道徳科 学習構想案（例）

日時 令和 年〇月〇日（〇）第〇校時
 場所 1年〇組教室
 指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	家族のために （ 内容項目C（13）家族愛，家庭生活の充実 ）	
ねらいと教材	(1) ねらい 弟ホトトギスの名前を呼びながら，毎日森の中を探し回る兄さんホトトギスの気持ちについて考える活動を通して，家族の一員として，助け合って暮らしていこうとする態度を育てる。 (2) 教材名 オトケサボウ 出典：「くまもとのこころ 小学校1・2年（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	弟ホトトギスを探し回る兄さんホトトギスの気持ちについて，多面的・多角的に考えている。	これまでの経験を振り返り，自分の家族のためにできることについて考えている。
目指す児童の姿		
家族の一員として，助け合って暮らしていこうとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）	本主題で働かせる見方・考え方	
家族のためにできることは，何だろう。	弟ホトトギスを探し回る兄さんホトトギスの気持ちについて多面的・多角的に考え，家族の一員として，助け合うことについての考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導，各教科等や体験活動等との関連的指導		
特別活動	道徳科	各教科
「掃除の仕方（後始末をきちんと）」 ○ 掃除の仕方を知り，学校や家庭で相手のために役割を果たそうとする態度を養う。 「おとこだからおんなだから（性教育）」 ○ 男女の違いを知り，男女関係なく助け合っている意識を高める。 「給食への感謝」 ○ 食べ物やそれに関わる人に感謝する態度を養う。	「どうぶつのかぞく」 （出典：あたらしいどうとく 1 東京書籍） C(13)家族愛，家庭生活の充実 主題名 家族の人の願い 「オトケサボウ」(本時) C(13)家族愛，家庭生活の充実 主題名 家族のために 弟ホトトギスの名前を呼びながら，毎日森の中を探し回る兄さんホトトギスについて考える活動を通して，家族の一員として，助け合って暮らしていこうとする態度を育てる。	生活 「いくぞ！がっこうたんけんたい」 ○ 自分の生活を支えている人に質問して，働く人々の役割について考え，それらが自分の生活と関わっていることに気付くことができる。 「自分でチャレンジ大きくせん」 ○ 家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考え，互いに支え合い，自分の役割を積極的に果たそうすることができる。 国語 「ずうっと，ずっと，大すきだよ」

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）																																			
<p>本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目C（13）「父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。」を基にしたものである。</p> <p>父母や祖父母が自分や他の家族に対して、成長を願い無私の愛情で育ててくれている様子に気付くことを通して敬愛の念を育てていく必要がある。</p> <p>指導に当たっては、家庭生活においては自分にできることを進んで手伝うなどして、積極的に家族と関わり、家族の一員として役に立つ喜びを実感できるようにしていくことが重要である。</p>																																			
本主題における系統																																			
<p>小学校第1学年及び第2学年 内容項目 C(13)(家族愛, 家庭生活の充実)</p> <p>父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つこと。</p> <p>教材名「オトケサボウ」 主題名「家族のために」 (出典:くまとの心 小学校1・2年)</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目 C(14)(家族愛, 家庭生活の充実)</p> <p>父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合っして楽しい家庭をつくること。</p> <p>教材名「小さなお父さん」 主題名「家族にきょうりよく」 (出典:新しいどうとく4 東京書籍)</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目 C(15)(家族愛, 家庭生活の充実)</p> <p>父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。</p> <p>教材名「卵焼き」 主題名「家族の幸せのために」 (出典:新しい道徳5 東京書籍)</p>																																	
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）																																			
<p>本学級の児童数（○人）</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>（1）家族のためにしていることは何ですか。</p> <p>（2）その時、どんな気持ちになりますか。</p> <p>■道徳科の学習に関する意識の状況（○人） (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">調査内容</th> <th style="width: 10%;">すき</th> <th style="width: 10%;">まあすき</th> <th style="width: 10%;">ふつう</th> <th style="width: 10%;">嫌好きでない</th> <th style="width: 10%;">きらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道徳は好きですか。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の考えを書くことは好きですか。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の考えを発表することは好きですか。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>みんなで話し合いをすることは好きですか。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■考察 (内容項目に関する実態調査)</p>						調査内容	すき	まあすき	ふつう	嫌好きでない	きらい	道徳は好きですか。						自分の考えを書くことは好きですか。						自分の考えを発表することは好きですか。						みんなで話し合いをすることは好きですか。					
調査内容	すき	まあすき	ふつう	嫌好きでない	きらい																														
道徳は好きですか。																																			
自分の考えを書くことは好きですか。																																			
自分の考えを発表することは好きですか。																																			
みんなで話し合いをすることは好きですか。																																			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #e0e0e0; padding: 10px; display: inline-block; margin: 10px auto; width: 200px;"> 項目のみ記載しています </div>																																			
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）																																			
<p>本教材は、球磨地方に伝わる民話である。唯一の肉親である兄さんホトトギスのために、美味しいえさを探し回る弟ホトトギスと、その愛情に気付かず弟ホトトギスを追い出してしまう兄さんホトトギスの話である。</p> <p>本教材を通して、弟を追い出したことを後悔して森を探し回る兄の姿から、家族で助け合っして生活する大切さを感じることができる。また、兄や弟の心の変容を多角的・多面的に考えることで、家族のために何ができるか考え、進んで行くことよさに気付くことにつながる教材である。</p>																																			

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 授業の導入場面では、「家族のためにしていること」に対するアンケート調査結果を提示することで、児童が本時の主題に関わる問題意識をもてるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。
- 本教材「オトトケサボウ」が球磨地方に伝わる民話であることを紹介し、主人公を事前に知らせることで、兄弟のホトトギスがどんな性格なのかに興味をもち、考えながら聞くことができるようにする。
- 展開前段場面では、弟ホトトギスが兄さんホトトギスにえさを届ける時の気持ちについて、役割演技を通して考え、お互いの考えを交流し、友達の考えに関心を高められるようにする。また、兄さんホトトギスに追い出された時の気持ちについても考えることで、弟ホトトギスの心の変容を捉えることができるようにする。
- 展開後段場面では、自分の考えをワークシートに記述した後、ペアで考えを交流する場を設定する。その際に赤シール（自分と似ている考え）と青のシール（新しい発見）を貼ることで、お互いの考えを聞いて、多面的・多角的に考えることができるようにする。
- 終末場面では、自分の行動が家族の一員として役に立ったことを実感できるように、家族からの手紙を紹介する。

【「考え・議論する」ための発問】

- 登場人物の思いを即興的に演じることで、自分事として捉え、道徳的価値への理解を深めるようにする。
- 中心発問を「弟を探し回る兄さんホトトギスは、どんなことを考えていたでしょうか。」と設定し、それに関わる基本的な発問や、児童の考えを深めるための補助発問を行うことで、多面的・多角的に考えることができるようにする。

【板書の工夫】

- 挿絵やスライドを使用したり、児童の考えを整理して示したりすることで、板書の視覚化・構造化を図り、友達との考えの違いから関わり合いを促すようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

弟ホトトギスの名前を呼びながら、毎日森の中を探し回る兄さんホトトギスの気持ちについて考える活動を通して、家族の一員として、助け合って暮らしていこうとする態度を育てる。

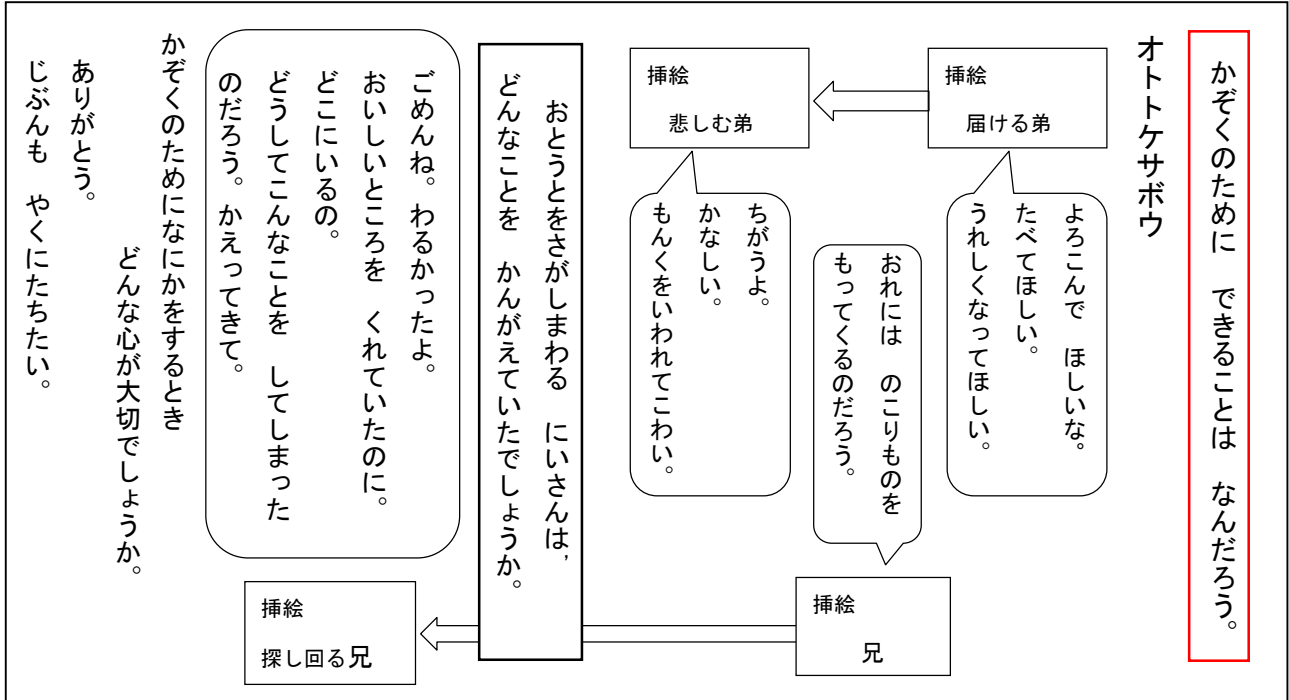
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を知る。 (1) 自分の家でどんな仕事をしたことがありますか。 ◇お皿洗いをお家の人とします。 ◇洗濯をしたことがあります。 ◇お風呂洗いを頑張っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭のための行動（仕事）について事前に取ったアンケート結果を知らせ、本時の学習課題につなげるようにする。 ○地域の民話であることを伝え、教材に対する関心を高めるようにする。 ○登場人物の関係性について挿絵で説明し、教材文の内容を理解できるようにする。
		<p>【学習課題】 家族のためにできることは、何だろう。</p>	
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。 (1) 話を聞いて、思ったこと（心に残ったこと）はどこですか。 ◇弟がかわいそう。 ◇兄がいじわる。 (2) 弟はどんな気持ちでえさを探したり、届けていたのでしょうか。 ◇お兄ちゃんのために持っていこう。 ◇喜んでくれるといいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーションソフトで挿絵等を見せながら、教師が教材文を朗読する。 ○心に残った場面を挙げながら、兄さんホトトギスと弟ホトトギスの性格を整理する。その際、それぞれの性格が対比できるように板書する。 ○弟ホトトギスが兄さんホトトギスにえさを届ける時と、兄さんホトトギスに追い出された時の心の変容について、役割演技を通して考えを交流する。 ○弟の思いを聞く前後で、兄の気持ちに変化していることを確認し、どんなことを考えていたかワークシートに書いて話し合う。 ○考えを交流する場面では、共有点や相違点に着目するための赤青のシールを活用し、多様な考えに気付くことができるようにする。 ○学習課題に触れ、家族のために行動する時にどんな心が大切なのかを共有し、終末につなげる。
		<p>【中心発問】 (3) 弟を探し回る兄さんホトトギスは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p>	
		<p>◇文句を言って、ごめんね。 ◇帰ってきて。心配だよ。 ◇次は、ぼくがおいしいものをもってきてあげるからね。 ◇ぼくのためにありがとう。 (4) 家族のために何かをする時、どんな心が大切でしょう。 ◇自分も役に立ちたい。 ◇ありがとう。 ◇喜んでくれるとうれしい。</p>	
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。 (1) 今までの自分を見つめましょう。 ◇家族のために自分もできることをすることが大切だと思った。 ◇家族のためにぼくもできることをしていきたい。 (2) 家族の思いを紹介する。 ◇お手伝いを頑張っていてよかったな。 ◇これからも、家族のために頑張りたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家族のために何ができるのかを考え、振り返りを全体で共有する。 ○「今まで、今日学んだこと、これから」の3つの視点から選んで、振り返りを書くようにする。 ○家族からの手紙を紹介し、家庭のために行動することで、家族のためになっていることを知るようにする。

【評価の視点1】 弟ホトトギスを探し回る兄さんホトトギスの気持ちについて、多面的・多角的に考えている。(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 これまでの経験を振り返り、自分の家族のためにできることについて考えている。(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

本時終末の振り返りの場面【電子黒板】

- アンケートの提示
- スライドの紙芝居で視聴させる。
- 家庭からの手紙紹介

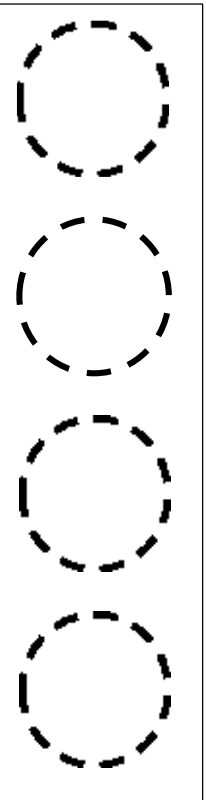
オトトケサボウ

なまえ

おとうとをさががしまわる にいさんは、
どんなことを かんがえていたでしょう。



「おとうとがえ」「あか」「あたりしいかんがえ」「あお」



いままでの じぶんを ふりかえりま
しょう。